

業種別部会が総会

建設現場／事業団・高齢者／トラック

建交労第19回全国大会に引き続いて、全国建設現場部会、全国事業団・高齢者部会、全国トラック部会の総会が開かれました。9月4～5日の建設現場部会総会には函館支部・河合さん、十勝建設支部・土屋さん、旭川支部・須貝さん、9月4日の事業団・高齢者部会総会には道本部・俵書記長と十勝建設支部・土屋さんが参加しました。トラック部会総会は欠席となりました。

全国建設現場部会の副部会長に河合さん、幹事に須貝さん、事業団・高齢者部会の副部会長に俵書記長が選出（いずれも再）されました。

全国大会で3人が発言

9月2～4日に開かれた第19回全国大会で、北海道から3人が発言しました＝前号既報。

北海道合同選挙区の石井代議員は道本部労災職業病部会の活動について、各地で相談会などをおこなって組合員を拡大したが死亡・脱退で減員となったことを報告し「もっと新規認定で組織拡大が必要だ」と決意を述べました。また指曲り症の不支給決定取り消し訴訟への支援を訴えました。

全国建設現場部会の河合特別代議員は、自治体発注の現場調査にもとづいて道庁や開発局など発注者との交渉をおこない、建設業協会などとの意見交換をすすめてきた道本部建設部会の活動を報告しました。

北海道本部の竹田特別代議員（北海道鉄道本部委員長）は、国鉄分割・民営化から30年のJR北海道の現状として約半分の路線を「単独では維持困難」だと切り捨てようとしていることを報告し、北の鉄道を守る運動から組織の拡大へとつないでいく決意を述べました。また、来年6月15～17日に札幌で開催される「建交労フェスタ」に全国から多くの仲間の参加をよびかけました。

JALの不当解雇撤回の訴えも

9月の「すべての争議解決・1の日行動」に50人

9月11日、札幌駅南口で「すべての争議解決・1の日行動」がおこなわれ、雨が降り出す中でしたが50人が参加しました。国家公務員賃下げ違憲訴訟、明啓院の不当労働行為とたたかいなどについて報告と訴えがあり、「不当解雇とたたかう日本航空労働者を支える北海道の会」の佐藤陵一さんがJALのたたかいの現状を報告し支援を訴えました。「1の日行動」に先立って、札幌駅南口での宣伝行動もおこないました。

反原発・道庁前行動を再開

9月1日、道庁前での毎週金曜日の「反原発」行動が再開されました。北海道反原発連合のスタッフの1人がカンパを私的に流用していたことがわかり、道庁前での行動を7月14日から中断していましたが、「泊原発再稼働反対」「原発なくせ」の声を上げ続けなければならないと、この日から再開しました。約2か月ぶりの行動には100人が参加し、15人が次々とスピーチしました。